おいしいエピソード・思い出大発表!!

～熊谷にはおいしいものがいっぱいだにゃ～

　皆様からいただいた大切なエピソード・思い出を５つの章にまとめました。熊谷のおいしいエピソード・思い出がいっぱい詰まっています。
　また、紹介されたお店の方からの一言コメントも一緒に掲載していますので、お楽しみに！
　皆さんからいただいた「熊谷の食」への思いを参考にして素敵な道の駅を目指していきますのでよろしくお願いします。

※エピソードの下の（　）の中は、応募者の方のペンネームです。



©熊谷市

目を閉じれば
熊谷のおいしい風景が　1-6

ごくり！熊谷の
おいしいごちそう達！！　7-11

みんな大好き
熊谷スイーツ”五家宝”　12-15

みんな知ってる？
熊谷の名店！　16-23

熊谷はステキなまち
道の駅「くまがや」で更なる魅力アップ　24-25

アンケート結果　26

●目を閉じれば熊谷のおいしい風景が・・・その１●

雪くま

暑かった。しんどかった。歩きに歩いた。鴻巣から熊谷まで、炎天下の中、旧中山道を闊歩し、八木橋デパートを通り過ぎたところで、本日ここまで、とした。

「雪くま雪くま」と呟きながら鎌倉地区に行ってかき氷を食す！ふわふわさらさら火照った身体に染み渡る。

「美味い！」思わず叫んでいた熊谷の絶品！

（ベッカム隊長）



いなり寿し

40年前、草津の療養病院に入院していた祖母。月に一度訪問に行く際のお土産は、いつも妻沼のお稲荷さんと決まっていました。

甘い醤油で煮た、大きな大きな稲荷には毒々しいほどの赤いショウガの色が染みていて、いつもは食が細くおかゆを食べていた祖母もその時ばかりは美味しそうに一本平らげていました。草津に行く日は特別に早朝に小林寿司に頼んであって、朝一番買いに行くのが小学生の私の役目でした。

妻沼には聖天寿司、森川寿司、小林寿司の３軒の稲荷寿司屋がありますが、少しずつ味や大きさが違い、それぞれの家庭でご贔屓が違っています。妻沼の子は飽きるほど食べたお稲荷、でもなぜかふと食べたくなるのもこの大きな大きなお稲荷。

（わしゃ）

いなり寿し

子供の頃、いなり寿司と言ったら聖天様の境内にある「聖天寿し」だった。長くて大きないなり寿司に、大きなかんぴょう巻き。甘めの味付けが大好きで、母が買ってくると大喜びしたものだ。

結婚し、熊谷から離れてもふと食べたくなる。そうして、思い出す。春と秋に行われるお祭りは、お小遣いを貰ってワクワクして行った。人の少ない時でも、聖天様はいつも、絢爛豪華な姿で私達を迎えてくれた。

今はコロナで帰省もままならない。だけど、子供と一緒に実家に帰った時はまた買おう。あんな大きないなり寿司他ではまず見ないから、絶対に驚くだろうな。

良い天気だったら。利根川の土手で三つのお店の味を食べ比べしようか。子供と一緒に。

（とと）

わしゃさん　ととさん　へ

・またの御来店おまちしております。　（聖天寿し）

・ありがとうございます。　（小林寿し）

・いつまでも続けますのでよろしくお願いします。　（森川寿し）

●目を閉じれば熊谷のおいしい風景が・・・その２●

雪くま

私の家族は、夏になったら、「雪くま」をみんなで食べに行きます。

雪くまは、かき氷です。削る氷は、熊谷市の水を使って作られています。また、ふわふわに削られています。シロップは、オリジナルのシロップを使っているそうです。

たくさん工夫して作られている「雪くま」は、熊谷市でしか食べられない、とてもおいしいかき氷です。

みなさんもぜひ、「雪くま」を食べに行ってみて下さい。

（奈良っ子219）

うどん

かつて、お盆と正月は、主婦にとって「勝負の週間」でした。座敷を二間続きにし、いつもの座卓にテーブルを足して、親戚をお迎えします。山盛りのつまみを並びきらないほど用意して、お酒とビールを運びます。台所の隅、子供たちは、うどん打ちです。こねたうどんにゴザをかぶせ、ごしごし、踏みこねます。小野式製麺機をぐりぐり回し、うどん粉をまぶして、母にバトンをタッチです。

まもなく、つやつやに茹で上がったうどんをすする、にぎやかな音が聞こえてきます。真っ赤に酔った父の顔、「まっと、たべない」と母の声。残った天ぷらをのせて食べたうどんの味は、絶品でした。

（田舎のたかえさん）

めんこ

子供の頃うどんは家で食べる物でした。盆・正月・彼岸など親戚が集まった時の食事の最後には、必ず祖母特性の地粉の手打ちうどんが出てきました。

醤油味のつけ汁に「ひとぼっち」と言って一口サイズずつに麺をくるっとまとめた物をお皿に出して皆で食べました。

方言だと思うのですが（旧大里村）うどんを打つ事を、うどんを「ぶつ」と言いい、うどんの事を「めんこ」と言います。祖父母はよく「今日はめんこをぶつか～」と言っていました。

うどんの他に、地粉で作ったすいとんも子供の頃の思い出の味です。畑の野菜を沢山入れて、醤油味のすいとんでした。

「地粉」は、私の子供の頃の食と祖父母を思い出させる大切な物です。

（むっく）

カブ

かつて、妻沼では春になるとビニールトンネルでカブが沢山作られていた。

母は農家の親戚からうちゃってしまうような傷ものののカブを貰っては、漬物をつくった。塩で揉んで重しをしたカブが冷蔵庫を陣取っていた。

さっぱり美味しいカブのつけもの。　（わしゃ）



●目を閉じれば熊谷のおいしい風景が・・・その３●

うどん

熊谷に住んで半世紀。初めて食べた手打ちうどんはお友達の家での夕ご飯での汁物でした。味噌汁でなくうどんが定番！！毎日手軽にうどんを打って食べているのが眼から鱗でした。

地粉の蒸かし饅頭も食べ、その美味しさは絶品でした。新鮮な野菜がいつでも手に入る熊谷。

スーパーの野菜も全て熊谷の野菜になってほしいです。

上之の道の駅には可愛い公園やお洒落なカフェ。安全で美味しい新鮮野菜や地粉文化の提供は勿論の事、子育て中の若い世代が気軽に立ち寄れ食育や農業体験など参加型の道の駅で在って欲しいと思います。今、現在、未来の子供たちに味の伝承ができる道の駅を期待しています。（SNOWY）

冷汁

妻の実家に初めて挨拶に行ったときのこと。食事をご馳走してもらうことになり、食卓にはたくさんのおかずを用意してもらった。

その中に見たことがないボウルに入った味噌汁のようなものが、、、。恐る恐る義母に聞いてみると、冷汁という食べ物というのだそう。食べ方を教わり、ご飯にかけ、うどんのつけ汁にして、たらふくご馳走になった。

私の緊張もその場の雰囲気も和やかになったのは言うまでもない。

それからは、私の大好物となり、毎年、夏バテの解消に一役かっている。（マイケル）

おだんご

美味しいものを一度に多く知ったきっかけは、「熊谷妻沼手づくり市」でした。

手づくり市は、国宝聖天様近くで開催され、古き良き街並みを感じつつ、美味しい食べ物も探すことができます。

スタンプラリーも行っており、この景品のみたらし団子の味が、私の忘れられない思い出です。

「小林だんご」というお店は、この景品なくしては出会えなかったと思います。

手づくりの餅は、美味しさも温かみも違うと感じることができました。

（くまっこ応援団）

・妻沼にお越しの際はご来店お待ちしています。
（小林だんご）



●目を閉じれば熊谷のおいしい風景が・・・その４●

農業体験

「農業体験」熊谷では、小麦やお米がたくさんとれるので、農業体験がたくさんできます。
ぼくも、１回やったことがあるので、これで農家さんのたい変さがすごくつたわりました。農業体験はたいへんだけど、やっていると楽しいので、ぜひみなさんもやってみてください。
あと、ぼくの学校には、なでしこまつりというイベントが秋にあって、そこでぼくたちがとったお米でおもちを作って、それを食べたら、ふつうに食べるより、ものすごくおいしかったので、みなさんも、料理をしてみてください。（奈良っ子123）

農業体験

「がんばって田植えするぞ！」３年生のときの思い出です。
田植えをするときは長いくつ下をはいて、そのまま田んぼに入りました。足もとは見えなくてあぶないと思いましたが、転ぶことはありませんでした。
何か月かたち、稲刈りもしました。そしてまた、何か月かたって、なでしこ祭りの日が来ました。
私は、この日のお昼が楽しみでした。大好きなおもちが食べられるからです。
「いただきます！」私達の作った稲。ものすっごくおいしかったです。一番最初から最後まで自分たちでやるといつもとちがったおいしさが感じました。（奈良っ子122）

農業体験

「熊谷市のおいしいエピソード」といえば、娘の小学校での稲作体験に始まる。
水着に着替えて上級生をまねて苗を植える１年生や鎌を片手に手際よく束ねていく６年生の姿は、教室では見られない縦割活動の中から生まれる集中力に驚く。
毎年、収穫したもち米は体育館で開催されたバザーで販売され、あっという間に完売した。
また、保護者や高校生の協力を募って、老人ホームの方々を招いて笑顔いっぱいの餅つき大会も行った。農家さんからお借りした臼の中へは、温かくて柔らかい餅を入れ、子供達が作った餡・きな粉も加えた。私もPTA役員として返却に走った。
「熊谷のおいしさ」を実感した学校・保護者・地域の３者連携行事だった。
懐かしい。（和泉鯛）



●目を閉じれば熊谷のおいしい風景が・・・その５●

うどん打ち

「オーイ、買ってきたよ。」と、義父の声がする。ハーイと返事をして、私と義母が部屋を出る。

玄関の上がり框には、今では三十キロも入る茶色の紙袋が置かれ、中身は米ではなく、小麦粉であることは間違いなかった。頼むぞと言って、又、仕事に戻って行く義父の声に、「又、やって来ましたね」と義母と笑い、二人で納戸へ引きずり入れる。

袋を開ける。プーンと新小麦の香りがする。粉もんといっては、手打ちうどんやすいとんが義父もだが、家中みんなが好んだ。

何も出来ない私が、嫁いで半年でうどんが打てたのは、義母の教えであったし、その後、どんな料理よりも、素朴なうどんは、我が家の自慢の料理となる。袋の表に、日東製粉と書かれていたが、その跡地は、今ではニットーモールとなりショッピングセンターとして賑わっている。　　（S.T）

★日東製粉株式会社は現在富士製粉株式会社と合併し、日東富士製粉株式会社となっています。

雪くま

地元熊谷のおいしい水を氷にして作ったかき氷を雪くまと言います。これがとってもおいしいんです。

熊谷市にはオリジナルの雪くまを作るお店がいくつかあって、バラエティに富んだアイデアあふれるかき氷を食べることができます。

暑い夏の日に雪くまを食べて熱中症予防をすることは子どもから大人、高齢者まで手軽にできる対策です。私が一番好きな食べ方はバニラアイスクリームと小豆をのせて雪くまを食べることです。

祖母ははちみつをかけて食べるのが昔から定番で一番おいしいと言っています。

家族それぞれお気に入りの食べ方で雪くまを食べて暑い夏を乗りきりたいと思います。

道の駅くまがやでも一人一人の好みにあった雪くまを食べたいです！　　（マナミ）



●目を閉じれば熊谷のおいしい風景が・・・その６●

きんぴらごぼう

大晦日に必ずした大仕事はきんぴら用のごぼう切り。母はきんぴらが大好きで、小学生のうちから私にそれを手伝わせた。妻沼の産業祭では太いそれでいて、柔らかいごぼうが「妻沼ごぼう」と書かれた袋に入って売られていて、人気商品だった。

およそ１０本も入ったその全部を大晦日にきんぴらにしたのだ。家で一番大きな鍋で作って、ずっと食べ続けた。それだけの量を切ると包丁が当たる場所がしばらくの間痺れて、書初めの宿題に苦労したのが思い出される。母は亡くなってしまったが、今でも毎年大晦日にはきんぴらを作っている。　　（わしゃ）

ところてん

かつて聖天様にはキジや孔雀、猿がいた。その動物の世話をしながら、サル小屋の前で子供相手の商いをしていたおじいさんがいて、5円10円の駄菓子とともに、ところてんと味噌おでんを売っていて、みんなその店をサル小屋と呼んでいた。

夏はタライの中から掬い上げ、つき棒でついたところてんに、杉っ葉が詰められた一升瓶に入ったつゆをかけた。冬は大きな鍋に三角に切られ串の刺さったこんにゃくがいっぱいあって、甘い味噌だれをかけて売っていた。

ところてんや味噌おでんは子供には贅沢品で、大人と一緒のときだけ買ってもらえる憧れの品だった。

今はない懐かしいサル小屋。　　（わしゃ）

うどん

私がこども食堂で『熊谷うどん』を食べたのは二年前。両親が離婚し、食べものに困っていた時だった。

家に帰っても誰もおらず、食べるものもない。あったのは孤独と寂しさだけ。そんな私を子ども食堂は温かく迎えてくれた。

「さあ、召し上がれ」私はいつまでも冷ました。熱かったんじゃない。嬉しかった。こんな私にも温かい場所があることが、本当に。

食材はほとんど熊谷産。熊谷の人たちが、熊谷の笑顔のために作ってくれたうどん。人がつながり、町がつながり、やさしさがつながる。

そんな熊谷にいて私も何かしたくなった。やっぱり子ども食堂かな。スープやうどんは、すくう、ものだからきっと皆を笑顔にできる。今でもそう信じている。　　（みさわゆみ）



●ごくり！熊谷のおいしいごちそう達！！その１●

うどん

ぼくが、熊谷にひっこしてきて、思ったことは、うどんがおいしいということです。四年生の社会科の授業で、『熊谷は、小麦がよくとれる。』ということを学びました。熊谷産の小麦を使って作っているので、おいしいんだなと思いました。もちもちしていて、とてもおいしかったです。熊谷でとれた野菜を入れたうどんを食べてみたいです。　　（ふみふみ）

うどん

「熊谷に美味しいうどん屋さんがあるらしいよ」
そう聞いたのは、まだ運転免許を取り立ての二十歳前の時。食いしん坊の友達を誘い、買ったばかりの車で初めての遠出。

今思えば、カーナビがあるわけでもなく、インターネットがこんなに普及していない時代に、よく地図を片手に初心者マークの付いた車で行こうと思ったものだ。若さは時に無謀過ぎる。

でもあの時、ようやくたどり着いたうどん屋さんで、口にしたうどんの美味しかったこと。今では、熊谷市が結構近い場所に感じられる程には運転が上達して、何度もうどんを食べに通っている。私の中では紛れもなくナンバーワンのうどんは熊谷市にある。

（光倫）

うどん

熊谷うどんを知っていますか。
武蔵野うどんとも言われます。
コシがあってのどごしツルツルのもちもちうどんです。熊谷うどんに妻沼ねぎをたくさん入れて食べると最高です。

熊谷の小麦文化はうどんだけではありませんが私たち家族が好きなのはやっぱり熊谷うどんです。熊谷の小麦は県内１位で地酒もおいしいんです。

道の駅くまがやで食べたいのは熊谷うどんです。だしとうどんをお土産で買えたり、テイクアウトができる商品も開発してほしいです。カップメンにしてもらっても防災食や保存食になるので重宝すると思います。

これからも家族みんなでおいしい熊谷うどんを食べて健康に幸せに暮らしていこうと思います。

ガンバレ！熊谷！　　（セイコ）



●ごくり！熊谷のおいしいごちそう達！！その２●

給食

僕は、吉見小学校に通っています。
吉見小学校の給食は、すごくおいしいです。
お母さんにそのことを言ったら、吉見小学校の給食は、地元の食材を使って学校で直接作っているから新鮮でおいしいんだよ。と言われました。
僕が好きな給食は、野菜たっぷりのすいとん、キムタクごはん、ココアあげぱん、くまがやうどんです。
道の駅でも熊谷の食材を使ったメニューを出してほしいです。　（げんさん）

甘酒

甘酒は、「飲む点滴」とも言わています。
認知症のおばあちゃんは、夢見る８６歳。
熱々の甘酒が大好物で、「元気が出ちゃったよう」とみんなを笑わせます。
かれこれ１５年も前、受験を控えた私は、将来への視界の悪さも加わり、不安と寒さに震え、イライラしながら、深夜まで勉強していました。
「甘酒、つくったよ。」米こうじが残る、あつあつの甘酒を差し入れしてくれたおばあちゃん。素っ気なく受け取って、ドアをパタンと閉めてた私。
１５年もたって、気が付きました。美味しかった。暖かかった。ありがとう、おばあちゃん、今更ながら、「元気がでちゃったよ」。　（なな）

きゅうり

夏の間、びっくりするほど大きいきゅうりがみつかる。
そんな規格外のきゅうりで作るのがきゅうりもみ。薄切りにして塩で揉み、布巾で固く絞る。そこに、炒ってすり鉢で丹念にすった胡麻にたっぷりの砂糖と味噌を加え練ったものを加える。
すり鉢を押さえるのが子供の仕事で、しっかり押さえてと叱られながら手伝った。
冷たいものばかり食べて食欲が無くなった私に、母はきゅうりもみをご飯にのせて食べさせた。甘い汁に浸ったご飯は味噌の大豆と胡麻の滋養からか、なんだか元気を出してくれた。
スーパーで買ったきゅうりでは決して再現出来ない。大きくなり過ぎたきゅうりでないとあの味は出来ない。夏になると不思議と食べたくなる一品。
（わしゃ）



●ごくり！熊谷のおいしいごちそう達！！その３●

うどん
権田愛三

　ぼくはいつもうどんをたべるときに、ごんだあいぞうさんという人をならってからあたまにうかびます。
　ごんだあいぞうさんはこむぎぶんかをくまがやにひろめてくれた人なので、うどんはごんだあいぞうさんからきていると思っています。
　それから、うどんのおいしさは、たべたときにもっちりとしたはごたえが、ぼくはうどんのおいしさのひみつだと思います。

（奈良っ子126）

うどん
権田愛三

　ぼくは、毎日学校で給食をたべていますが、じごなうどんというううどんがあります。たべてみるとすごくおいしいです。
　このうどんは、熊谷市の名物です。昔に、ごん田あいぞうさんが小麦粉の文化をひろめたそうです。こうしてじごなうどんができました。
　うどんのしょっかんは、もっちもっちしていてたべごたえしています。

（奈良っ子128）

妻沼ねぎ

　私が道の駅めぬまで一番好きな野菜は妻沼ねぎです。
　妻沼ねぎは甘みがあってどんなお料理にもあいます。
　私が妻沼ねぎを使うのはすき焼きです。
　妻沼ねぎを敷き詰めて、味をつけた後、妻沼ねぎを牛肉と一緒に食べるととろ～りとした食感とシャキシャキ感もあってとってもおいしいんです。
　もちろんうどんやそば、ラーメンに入れても最高です。
　ネギ焼きにしても香ばしくてたくさん食べれます。妻沼ねぎのお陰で、お料理のバリエーションが増えました。
　道の駅めぬまに行くと妻沼ねぎをたくさん買いこんでしまいます。
　家族みんな妻沼ねぎが大好きです。
　これからも家族が喜ぶ妻沼ねぎのお料理をたくさん作って健康な生活を送りたいと思います！　（ナギサ）



●ごくり！熊谷のおいしいごちそう達！！その４●

ドーナッツ

食の思い出は幼い頃に祖母が作ってくれたドーナッツです。我が家は両親が忙しく働いていたので食事の支度は祖母がしてくれていました。

祖母は天ぷらが得意で朝からでも揚げるほどでした。天ぷらの残りの生地にお砂糖やふくらし粉を入れてドーナッツを作って私たち姉弟に食べさせてくれました。

とても懐かしく美味しい思い出です。

（がっくちん）

フライ

「これがフライ？」想像とは似ても似つかない食べ物が出てきた。ゼリーをフライにするっていうから、さぞ水分が跳ねてドロドロで大惨事になった食べ物が出てくると思っていた。

就職で熊谷に出てきた私。のちの夫が、「大丈夫だから、注文して待ってて。」というので待っていたら、出てきたのはなんとまぁ、ぐちゃぐちゃのゼリーどころか、意外すぎるおからであるではないか。

『ゼリー』と『ゼニー』の言語の変化を聞き、小銭の形の移り変わりから、歴史を感じる食べ物だと思った。私が熊谷へ来て、1番驚いた食べ物である。

（あっこちゃん）

フライ

「おばあちゃんのフライは、もっと薄くてネギと干しえびだけだったんだよ」と娘が、フライの思い出を話す。おばあちゃんは孫と一緒によくフライを焼いていました。

私は県南育ちなのでフライは食べたことがなく、作り方なんて知りませんでした。でも、このところの野菜ぎらいの孫のために、たっぷり野菜を入れてフライを焼いてみることにしました。

地粉を使います。野菜をきざみ干しえび、卵を入れて焼きました。具が多くてフライのつもりがお好み焼きだな思いましたが、孫はあっという間に食べました。

「バアちゃんのフライ」と名付けました。今度は、これが孫にとってのフライの思い出となるのかなと思ったしだいです。

（ジャスミン・アキ）



●ごくり！熊谷のおいしいごちそう達！！その５●

うどん

熊谷の特産物である小麦を使った「熊谷うどん」を何回か食べたことがあります。
コシと風味があってとてもおいしいです。
もっと小麦を使用した食べ物が沢山そして、身近に食べられるとうれしいです。　（匿名希望）

うどん
権田愛三

ぼくはじごなうどんをたべるとき、時々ごんだあいぞうさんがうかびます。なぜなら、ごんだあいぞうさんは、小麦文化を作った人です。
ぼくは、ごんだあいぞうさんがいなかったら、学校の給食にじごなうどんや小麦を使ったおいしい食べ物は出なかったと思いました。
そのおいしさは、すごくもっちりしていてたべやすく、すぐなくなってしまうくらいのおいしさです。
これからもじごなうどんをたべるときは、ごんだあいぞうさんを思いうかべてたべていきたいと思いました。　（奈良っ子113）

フライ

わたしは、熊谷市のフライが大好きです。
フライで思い出すことは、お父さんが作ってくれたフライです。
わたしは、お父さんのフライの野菜や肉がたくさん入っていたことや、ねぎのからみがきじにとじこめられ、あまくなり、食べやすくなっておいしいです。最後には、ソースではなく、しょうゆをかけて、こくもなく、うすくもないあじが大好きです。
お父さんが作っているところを見て、「自分も、早くフライが作れるようになりたい」と思っていました。
きじと具をまぜているところが、とても、好きです。今後作ってもらう時は、いっしょに作りたいです。
わたしが自分で作るのなら、玉子を入れてみたいです。
お父さんといっしょに楽しく作りたいです。
（ＹＩＫ）



●みんな大好き熊谷スイーツ”五家宝”その１●

五家宝

わたしの熊谷の思い出の食べ物は、五家宝です。小学校の社会科見学で、五家宝を作っているお店を見学した時にわかったことが２つあります。

１つ目は、伝統を未来に伝えるのは大変そうということです。わたしが見学したお店ではすごく作るのが大変そうでした。お店の人も、なれてないと大変とおっしゃっていました。さらに、その伝統を受けつぐ若い人もいないので、もっと大変だと思いました。

２つ目は、とてもおいしいということです。わたしは五家宝を食べて、おいしくてびっくりしました。この味が未来で食べることができないかもしれないと思うと、残念になりました。若い人が、伝統を受けついでいけるとうれしいなと思いました。　　（みぃー）

五家宝

「おいしい！」３年生の時、社会科見学で、初めて五家宝を食べました。五家宝は、中がお米で外にきなこがかかって丸く細い形をしている、熊谷に昔からあるお菓子です。

わたしは３年生まで五家宝を知りませんでした。初めて見た五家宝は、今時のおかしと違った、時代の古さを感じるような見た目で、あじはサクサクとしていてちょっとあまいです。

とにかくおいしくて、３年生まで知らなかったなんて、とてもこうかいしました。もっと早く知りたかったので、色んな人たちにも知ってもらいたいです。　（のんこ）

五家宝

ぼくの好きな熊谷の食べ物は五家宝です。３年生の時、社会科見学で作っているところを見ました。

五家宝は機械で作っていると思っていたのに、手作業でやっていてすごいと思いました。お店で少し食べさせてもらったら、すごくやわらかくて、熊谷にもこんなにおいしいおかしがあることにビックリしました。

その味が忘れられなくて、家族で買いに行きました。食べたしゅん間、皆が笑顔になって、会話も弾みました。おいしいものは幸せな気持ちにしてくれます。

道の駅くまがやにも五家宝を出して、他の県の人に熊谷のよさを知ってもらいたいと思いました。

道の駅くまがや限定で、五家宝をラグビー型にすればもっと人気がでるのではないかと思いました。

（めでたい）



みぃーさん　のんこさん　めでたいさん　へ

・130年以上お店を続けてこれたことは地元の皆様のおかげです。これからも楽しくて美味しい社会科見学をできる限り続けていきたいと思います。　（堀内製菓）

★確認したところ本町の「堀内製菓」さんでした。

みんな大好き熊谷スイーツ”五家宝”その２

五家宝

私は、五家ぼうが大好きです。初めて食べたときが２年生か３年生で五家ぼうを食べるとよく思い出します。

この間、五家ぼうを買ってもらって久しぶりに食べたらほっぺたがおちそうでした。姉と目を丸くして「おいしいねー」なんて言い合っていました。

とくに、においがこうばしくてサクッとしているのに中はふわふわしているクセになる食感がたまりません。たまに給食にでるので、「よっしゃー」と言ってとびはねます。食べてみなきゃわからないけど、元気と笑顔をくれる最高の食べ物です。

（奈良っ子114）

五家宝うどん

「おいしい。」五家宝を初めて見たときは、なにかが入っていて食べたくありませんでした。ですが親にすすめられ一口食べたら、初めての歯ごたえでした。そしていつも五家宝を見ていると、食べたくなって、いつも買ってもらっていました。

いつも食べていたら菓子の中では、いちばん好きになっていました。そして、熊谷はおいしいものがいっぱいあって熊谷に生まれてきてよかったなと思いました。五家宝の他にもじごなうどんなどいっぱいあります。おいしいのでぜひみなさんも食べてみて下さい。

（奈良っ子116）

うどん五家宝

「やったー」私は心の中でさけびました。

給食で熊谷で有名な地粉うどんがでたからです。

私は、熊谷にはいろいろなおいしい食べ物があってそれが大好きです。

特に五家宝などのあまいお菓子はほっぺたが落ちそうなくらいおいしくて、さとうが「ぼわぁ」ととろけて食べたらまた食べたくなり、やみつきになります。

食感も不思議なかんじで大好きです。そして、いろいろな味があるので、食べ比べができるのでおいしいし、楽しいです。

私はふつうのきな粉味が好きです。

みなさんも、五家宝だけでなく、熊谷にはまだまだおいしいものがあるので、ぜひ食べて熊谷のいいところを広めていきましょう。

（奈良っ子121）



●みんな大好き熊谷スイーツ”五家宝”その３●

五家宝

私の家族の思い出に残るおかしは、「五家宝」です。五家宝は、昔ながらできているおかしなので、お母さんやお父さん、さらにおじいちゃんやおばあちゃんも五家宝が大好きなので、いつものように五家宝を家族で食べています。

すごくおいしくて、そんなに甘くもないのでちょうどいい味で、米ときなこでできているのでさっぱりしている味です。熊谷の名物としてすごく人気のあるおかしなので大人から子どもまでおいしく食べることができます。

2021年をむかえ、わたしの家族で五家宝ランキングをきめるため、いろいろなお店の五家宝の食べ比べを始めました。どの五家宝の味が一番になるのか今から楽しみにしています。　（奈良っ子217）

五家宝

私は熊谷市の「五家宝」が好きです。

５才の時にとてもおいしいと思ったおかしでした。じいちゃんといっしょにいった道の駅でじいちゃんが、「とってもおいしいんだよ」といったので食べてみたらあますぎず、きなこの味がしっかりしてすぐにおいしいと思いました。

お米で作られていると知った時はびっくりしました。熊谷にはいい所が沢山あります。

これからもっと熊谷のいい所を知りたいです。

（奈良っ子201）

五家宝

私の熊谷市のおいしいエピソードは、五家宝です。

五家宝とは、埼玉三大銘菓の一つで、五穀は家の宝であるという願いがこめられて五家宝という名がつけられました。

私のお母さんが子どものころ五家宝をよく食べていたそうです。

甘いものが苦手な方も食べられるほどよい甘さで、きな粉との相性はばつぐんです。

私も小さいころからよく食べていて、すごくおいしいので熊谷市といったらこれだなと思いました。

また、熊谷市は、日本一の暑さで有名ですが、その暑さもふっ飛ぶくらいのイベントうちわ祭りが行われたり、ラグビーワールドカップが開さいされたラグビー場があったりします。

大好きな熊谷市をみんなの力でつくっていきたいです。　（葵）



みんな大好き熊谷スイーツ”五家宝”その４

五家宝

ぼくは四年生のころ、五家宝が給食で出ました。五家宝は最後のデザートにしてたのでどんな味かとてもうきうきしていました。

きなこがたくさんのってて、どくとくなしょっかんとありました。

ほっぺたがおちそうなぐらいおいしいので、みなさんも食べてみてください。

（奈良っ子106）



五家宝

私の中での熊谷のおかしといえば、「五家宝」です。なぜなら、サクサクしていてきな粉の甘みが口の中に広がるとほっぺたが落ちそうなぐらいおいしいからです。

どうやって、五家宝がつくられているのか気になりました。先生に聞いてみると、お米でつくった水あめを丸め、のばして切ってきな粉をつける作業をしている動画を見せてくださいました。「おいしい五家宝だけど、意外とシンプルなんだなぁ」と思いました。

大人になっても食べたいし、熊谷市じゃない場所に住んでいる人にもおいしくたくさん食べてもらいたいです。

（奈良っ子206）

五家宝

「うわあっおいしい」ぼくは、おどろきました。

こんなにおいしい五家宝は、どうやって作られているのだろうと思い調べてみました。

五家宝は、お米から作られていて、きな粉などをまぶした物です。

五家宝のおいしさのひみつは、そのしっかりとした食っかんにあります。

そしてこの五家宝もこの熊谷のさかんな農業があってこそなのです。

この五家宝を作り始めたのは、なんと江戸時代からなのです。そしてこの江戸時代の熊谷はすごく農業のさかんな時期でもありました。

この五家宝は、農業のさかんな熊谷でしかみられないでしょう。

そのこともあってぼくは、よりいっそう、五家宝が好きになりました。

（奈良っ子220）

●みんな知ってる？熊谷の名店！その１●

名店

熊谷市に昔からある小売店を元気に！
チーズケーキのコッツ。
うどんの天狗屋食堂。
五家宝の花堤。
ホシカワカフェ。
アキモトコーヒーロースターズ。
洋服のナミキウエスト。
洋服のディジーファーム。
喫茶店のカフェドリッチ。
ベーグルやさん。
おにっ子ハウス。　　（さち）



・昔懐かしの味、ぜひ食べに来てください。　　（天狗屋食堂）

・花堤の五家宝は伝統を守りながら創意工夫で頑張ります。（花堤）

・うれしいです。これからも頑張ります。　　（ホシカワカフェ）

・おいしいコーヒーとお菓子をご用意しております。
（アキモトコーヒーロースターズ）

・ありがとうございます。創業1969年
これからもカッコイイファッションをご提案いたします。
（ナミキウエスト・ディジーファーム）

・古き良き時代、昭和の懐かしい味わいを是非ご堪能ください。
（カフェドリッチ）

・おにっ子ハウスのお味噌をよろしくお願いします。
（おにっ子ハウス）

名店

熊谷のソウルフードといえば、権田愛三で有名な小麦を使った「うどん」が有名ですが、我が家のお勧めは「フライ」です。数あるフライ屋さんの中でも、鎌倉町の「いわ瀬」さんです。

亡き祖母、母親、私、そして子供夫妻の４代でお世話になってきました。パン粉と甘辛ソースは絶品で、お勧めは定番の「肉玉フライ」ですね。

友人や会社の同僚達に「熊谷で美味しいものは？」と聞かれると、「秀萬」さん・「はっかい」さんと共に紹介しています。　　（ムーチー）

・熊谷の名物をぜひ食べに来てください。　　（いわ瀬）

・おいしい魚介類を用意して、お待ちしております。（秀萬）

・季節のおいしいお料理を用意して、皆さんのご来店をお待ちしております。　　（はっかい）

●みんな知ってる？熊谷の名店！その２●

懐かしの名店

雪くまはとてもつめたくておいしいです。
初めて食べたのは、暑い日にプールに行った帰り道でした。
大里の農村レストランで熊谷うどんを食べた後に雪くまを食べました。とてもおいしくて「おいしい！！」とちょっとさけんでしまいました。
雪くまはぼくのいちおしのおいしい熊谷名物です。
（りんたろう）

★現在農村レストランは閉店し、同じ場所でうどんと定食を中心とした粉麦食堂が営業しています。雪くまは扱っていませんのでご注意ください

懐かしの名店

小学生の頃スポーツクラブの練習後に食べた赤城精肉店のウインナーポテトフライの美味しさが今でも忘れられない。チームメイトで熱々のフライをハフハフしながら、たわいも無いお喋りをしながら食べるあの時間は何にも変え難かった。心も身体も満たしてくれたカツ屋さんだが、優しいおじいちゃんが亡くなってお店も畳んでしまった。チェーン店と違い、街の食べ物屋さんの味はそのお店でしか味わえない。だからこそ、今近所でお世話になっているお店の味を噛み締めたい。そして大きな声で言いたい。
『ご馳走さまでした！』
（こはる日和）

懐かしの名店

子供達の運動会には必ず大量のカレーポテトを作る。蒸したじゃがいもにカレー味の衣をつけて揚げ、ソースをかけただけのものだが、とても美味しい。
妻沼の子なら誰もが知る「いわちゃんポテト」を真似たもの。
いわちゃんポテトは25年前頃までは、聖天様の境内で売られていた。
いわちゃんと呼ばれるおじさんが揚げるポテトをお祭りの日はもちろん、そうでない日もわざわざ買いに行った。
いつも列が出来ていて、出来たての熱々を頬張ることができた。
いわちゃんが亡くなり、しばらくは親戚のおじさんが引き継いだが、今はそれもない。
味の記憶をたどりながら、運動会の日は前の晩から準備する。
（わしゃ）



●みんな知ってる？熊谷の名店！その３●

からあげ

息子が4才の時から、毎年12月に星川で開催される「サンタさんお散歩ナイト」に参加しています。
そこで、協賛していた「鳥金」さんの、唐揚げを初めて頂きました。当時「肉」を食べなかった息子も、その美味しさが分かったのか「おいしい、おいしい」と食べておりました。唐揚げの聖地と言われる大分県生まれの私も、その美味しさに感激し、今では定期的に購入しております。
この美味しさをもっと多くの方にも知って頂く為に、道の駅くまがやにて、こちらの唐揚げを取り扱って欲しいです。（黒ヴォク）

・ありがとうございます！（鳥金）

パン

朝のパンは小麦の丘で買ってます（メロンパン）



・ありがとうございます。
またのご来店をお待ちしております。（小麦の丘）

名店

西田飴の最中は皮がパリパリで上顎につかなくて美味しい、餡も最高。
三河屋の栗蒸し羊羹は絶品。
ばらやの豆大福は求肥じゃなくお餅で美味しい。
ホシカワカフェが素敵。
ケーキはピエージュドゥのケーキが綺麗で生クリームも軽く美味しい。
道の駅にもお洒落で素敵なカフェの設置は必須ですよ。（コバヤーシカ）

・ご来店お待ちしています。（西田飴）
・おいしいお菓子を作ってお待ちしております。（三河屋）
・またの御来店をおまちしております。（ばらや）
・うれしいです。これからも頑張ります。（ホシカワカフェ）
・是非ともお立ち寄りください。（ピエージュドゥ）

●みんな知ってる？熊谷の名店！その４●

名店

少し前ですが、某テレビ番組でスポーツ選手や芸能人がゲスト出演した際にお土産を持ち寄るコーナーで、聞き覚えのある沢田さんの「ちーず大福」が登場し、あの選手がこれを知ってるんだ！しかもお勧めしてくれている！と驚き、郷土の老舗の頑張りが世に出て誇らしくなったことを覚えています。

その後も新製品やパン屋さん、隣接して古民家を改装したカフェなども登場し、これからの展開にも期待しています。　（Ｄｅｅ）

・ご期待にお答えできるように頑張ります。
（株式会社　沢田本店）

懐かしの名店

閉店したと聞きましたが、コロポックルさんのシフォンケーキがお気に入りでした。

差し入れでいただいたのがきっかけで、自分でも買いに行く様になり、お土産にも喜ばれました。

プレーンな味が、昔懐かしい感じがして、ホッとする味です。クリームを添えたり、フルーツと一緒に食べたり、その時の気分で、変えれるのも好きな理由です。

そんなホッとするケーキをまた食べたいです。地元の道の駅にも、素朴でもおしゃれなケーキやパンを販売してくれるといいなと思います。　（ぱーむす）

苺大福

県立熊谷女子高校の向かいに、出川屋さんという和菓子店がありました。

「熊女（くまおんな）」を自称し高校生活を謳歌する生徒達にとって、出川屋の一番人気だった苺大福は、みんなが大好きな熊女名物とも言える思い出の味です。

ふっくら柔らかな大福にこれでもかと大きな苺が贅沢に包まれて、溢れる甘さと苺の香り。

放課後に友達と買って帰ったこと、卒業して県外の大学に進学する時には後輩が苺大福をくれたこと。

熊谷で暮らしたのと同じくらいの年月を県外で過ごしてきた今も、出川屋の苺大福が食べたいなぁと思う、大切な青春の味です。　（かんかん）

・思い出の一つになっていてうれしいです。
これからよろしくお願いします（出川屋）



●みんな知ってる？熊谷の名店！その５●

懐かしの名店

熊谷市の方とお付き合いしていた時、
待ち合わせの際によく利用していたのが、
熊谷市役所前にあったrelishです（今はお花屋さんになっているみたいです）。
洗練された室内とおしゃれなマスター、そして、極めつけは本格的な味付けをされたイタリアン。
トマトやクリーム味のパスタはほかに形容ができないほどおいしく、パスタ以外を頼んでもはずれはありませんでした。
お店自体はもうなくなってしまいましたが、あのマスターと、パスタ（特にカルボナーラ）はふとした瞬間に頭に浮かんできます。（あず）

雪くま

私の祖父の代から、先代の店主さんがお茶を配送して下さっていた西田園さん。
代が替わられた後でも変わらぬ良さを引継ぎながら、今や熊谷名物となった「雪くま」をいただけるお店として、また通りの反対では空き家を見事に生まれ変わらせた新たなお茶屋さんも展開され、お土産にも重宝しています。
人気が出過ぎて混み合うのは仕方有りませんが、今年は雪くま頂きたいです！　（Ｄｅｅ）

・ありがたいことです。ますますがんばっていきます。
（西田園）

名店

熊谷といえばパブリックダイナーですが、
その系列の中でもCAFEPDCのパスタはおすすめでした。
私の友人がパスタ2皿食べた後に食パン1斤をペロリと平らげてしまったのは良い思い出です。
残念ながら現在では閉店してしまいましたが、近くの駅ビルに系列のPUBLIC CULTUREが営業しているので、そちらをよく利用しています。
（ひー）



契約期間満了のため閉店しましたが、CAFEPDCは、僕も大好きなお店でした。
地域に愛されるニットーモールの老朽化に伴い活性化を依頼され、ディベロッパーの熱意に心打たれ出店しました。
業態は変わりましたが移転先のパブリックカルチャーにもお越し頂き本当に感謝致します。（ PUBLIC DINER）

●みんな知ってる？熊谷の名店！その６●

白米うどん

「どこの白米をたくのかな～。」ぼくは、彩のかがやきが大好きで、毎日楽しみにしていました。
ほぼ、彩のかがやきでした。
他に、田舎っぺのうどんや、おかずがおいしかったです。うどんは作りたてで、もちもちしていることや、おかずは、ぼくが苦手なものも入っていますが、苦い味はせず、おいしくて、主食が来て、食べました。コシがすごくよかったです。
家で食べたものと同じ味で、毎日食べに行きたいと思いました。　　（奈良っ子202 ）

うどん

ぼくが、一番すきな食べものは、うどんです。
きゅう食の地ごなうどんを食べたときにすきになって、今では一番すきな食べものになりました。
とくに、田舎っぺうどんが大すきです。
田舎っぺうどんは、メンをつゆにつけて食べるのが、おも白いです。
つゆもしおあじでお肉もたくさん入っていて、とてもおいしいです。　　（りょうた）

うどん

わたしは、中学年か低学年のときに
いなかっぺうどんというお店に見学をしに行きました。
なぜいなかっぺうどんにしたかというと、見学のことをお母さんに話したら、「ぜったい、いなかっぺうどんのほうがいいよ。」と言ってくれたからです。
いなかっぺうどんにつくと、お店からとってもいいにおいがして、とてもおなかがすいてしまいました。
中に入るとそとよりもいいにおいがしました。
いなかっぺうどんの「ごぼう」が出てきておはしでつかんで一口食べてみたら口いっぱいにからみが広がりましたが次のしゅんかんからみにまけないくらいのうま味が広がりました。
そして、一しゅんで食べ終わりました。
あの味は一生忘れられません。　　（奈良っ子115）

・皆様のおいしい思い出の一つにさせていただきましてありがとうございます。気軽に立ち寄れるお店を目指して頑張ります。　　（元祖田舎っぺうどん）



●みんな知ってる？熊谷の名店！その７●

懐かしの名店

美味しい思い出　それは妻沼の「カレーポテト」です。
現在53歳の私が小学生の頃、妻沼駅前のお店や聖天さまの園内で販売されていました。
どんなものかというと、茹でたジャガイモを4分1ほどにカットしたものを4つくらい串に刺して、カレー粉の入った衣を纏わせ揚げてウスターソースに浸したものでした。
自分で真似して作った事あるのですが、なんか微妙に違います。あの味もう一度食べたいです。　（妻沼のじや）

懐かしの名店

高校時代、部活帰りに友達と寄って帰ったのが生パスタの「詩知里屋」です、乾麺パスタしか知らなかったので、味に衝撃を受けたのはもちろん、二人前（ダブル）・三人前（トリプル）の無料サービスは、学生にとっては最高でした。
「スープまで飲み干さないと無料にならないよ」と友達に騙されて、アンジェリーノのトリプルを食べきったのは良い思い出です（一番のお気に入りはアマトリチャーナ）。
高校卒業後、しばらく通えませんでしたが、就職先が熊谷となったので、お昼によく通いました。
生パスタの珍しさと大盛サービスでいつもお店は混んでいましたが、残念ながら閉店となってしまいました。復活してほしい店№１です。　（たか）

餃子

熊谷の夜の〆は餃子である。
小生が幼い頃、父親が酔って気持ちよく帰宅した際のお土産は餃子だった。
小生は永楽の餃子が〆となって久しい。
熊谷産小麦100%のモチモチ皮で永楽の餃子が食べてみたい。
別件、熊谷の県立高校は伝統もあり卒業生の数も計り知れない。
そんなバックボーンから、私の高校時代のランチはコレ！的な枠を決めた中でのランキングやピックアップメニューは世界がひろがりそうです！
（山崎屋）

・ありがとうございます。（永楽）



●みんな知ってる？熊谷の名店！その８●

らーめん

ぼくは、家の近くにあるみんなでよく行っているお店を楽しみにしています。

理由はお父さんがとてもその店が好きで、ぼくも何回も行っているうちにとても好きになったからです。

特に好きなメニューはラーメンです。おいしいのでよくたのんでいます。

さらに、期間げん定のメニューもあって夏は冷やし中か、冬にはなべなどが食べられるので、なべなども冬などのときはよくたのんでいます。

ラーメンやなべにもいろいろな味があってラーメンだとよくチャーシューメンを食べています。

ほかにもカレーなどもあって、デリバリーでもたのめて今でもたくさんたべています。

コロナが終息したらまた行きたいです。（K.T）

らーめん

わたしには好きな店があります。その店で一番好きな食べ物はラーメンです。なぜかというと、めんがほそくてスープの味がめんにしみこんでいて、具もとてもおいしいからです。

わたしは、その店に行った時は、ほとんど毎回ラーメンを食べています。とてもラーメンがおいしいからです。そしてわたしは、毎回大盛りを食べています。わたしはもともとラーメンは好きですが、一番好きなラーメンはこの店のラーメンです。

これからもおいしく、いっぱい食べたいです。

（T.T）

名店

熊谷グルメか…ソフトボールの後はみんなでいなかっぺ。足を延ばしてよか楼も。

夜は個性的なお店がいっぱい！甲子園でプレイボール。李家の２階でワイワイ。水よしでモクモク。秀萬のお土産でウキウキ。

〆は永楽で決まり！ごちそうさまでした。

ああ、がんばれ熊谷！！　（影の参謀）

・皆様のおいしい思い出の一つにさせていただきましてありがとうございます。気軽に立ち寄れるお店を目指して頑張ります。（元祖田舎っぺうどん）

・お客様へ旨い、安心をお届けいたします。（よか楼）

・元気が一番！笑顔一番！（甲子園）

・あなたの笑顔が地域の笑顔！！（李家）

・ぜひ食べに来てください。（水よし）

・おいしい魚介類を用意しお待ちしております。（秀萬）

・ありがとうございます。（永楽）

K.Tさん　T.Tさん　へ

・お客様のご期待に添えるよう頑張ります。（まるこう）

★確認したところ星川の「まるこう」さんでした。



熊谷はステキな街・道の駅「くまがや」で更なる魅力アップその１

思い出

結婚するまで熊谷市に住んでいました。
暑いイメージがありますが、交通の弁はいいし自然もあってとても過ごしやすい街だったと離れてから気付きました。　（まき）

思い出

12年前映画20世紀少年第三章のボランティアエキストラに参加、ロケ会場は妻沼中央公民館でした。
500人公募を800人の応募者がいたということで、人気コミック本のロケ地が熊谷で行われること、そこにたくさんの方々が集まることにワクワクした気持ちで参加した記憶があります。
撮影風景を見るのは初めてな上に参加が出来るなんて…それも我が熊谷で！と、その時出演されていた黒木瞳さんにもお目にかかれ、数々の感動場面もあり貴重な体験が出来たこと幸せでした。
映画文化の中でも貢献している熊谷市に更なる期待が膨らみます！　（ゆきちん）

希望★

懐かしい元の住み家の近くに道の駅ができると聞き応募させて頂きました。
近年運動場等もでき東京近郊の都市として賑やかなニュースが届いてまいりました。
道の駅は、これから若者層が中心に発展されると思います県の木ケヤキを使ったツリーハウスなど広場に置かれたり楽しい遊び場なども設置されたら、いかがでしょうか。（みこっぺ）



熊谷はステキな街・道の駅「くまがや」で更なる魅力アップその２

思い出

新潟の祖母の家に行く際、熊谷駅から上越新幹線を利用しておりました。
子供の自分にとってはとても特別な体験で今でも楽しかった思い出として残っています。　（タム）

うちわ祭



初めてうちわ祭りにお伺いした時に、規模の大きさにびっくりしました。
お祭りの活気がすごく、元気あふれる市だと実感しました。　（タムラン）

希望★

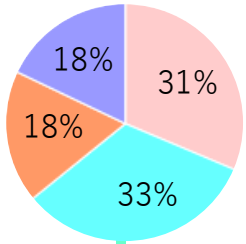
気軽にティータイムができるお店があったらいいと思います。　（匿名希望）

希望★

深谷・岡部・本庄等々の道の駅をよく参考になさり、市のキャラクターや市の持ち味を生かし、いろいろな個性・その土地の産物・郷土の偉人なども利用しながら、それらを踏まえて、取り組みなさらないと、お金をかけました、パッとしなかった、つぶれましたでは、今コロナ禍の真っ最中で、予算の関係もあるかと思いますが困ってしまいます。
また、花園には新しい駅ができ、アウトレットの大きいのができるので、しっかり計画しないといかがなものかと思います。
よく計画を立て、世の中の流れ、世代間のギャップなども理解して、いろいろな所からお客様が集まってくれればよいと思います。成功をいのります。
（60代半ばの人の良いおばさん）

アンケート結果

※すべて複数回答可



- 上品で風情のある和風の雰囲気 31%
- 自然と調和した洋風な雰囲気 33%
- 昔懐かしいレトロな雰囲気 18%
- 簡素で洗練された雰囲気 18%

性別

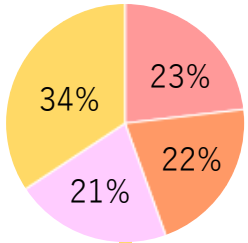
- 男性32%
- 女性68%

年代



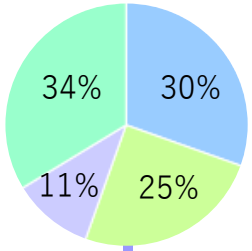
- 10歳未満 3%
- 10代 38%
- 20代 2%
- 30代 15%
- 40代 16%
- 50代 10%
- 60代 10%
- 70代 4%
- 80代以上 2%

道の駅【くまがや】がどんな姿だったら【うれしい！】【熊谷らしい！】となりますか



- ”熊谷流の農業・食文化”を核とした体験型”食”のテーマパーク 23%
- 子どもが対象の食育や知育等の要素を加えた広い屋内遊び場 22%
- みんなでくつろげる芝生広場や公園 21%
- 地元の新鮮な野菜・ご当地グルメ・名産品などの買い物 34%

道の駅【くまがや】で楽しみなこと



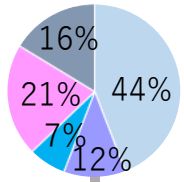
- 伝統食（うどん、フライほか） 30 %
- 洋食（パン、パスタほか） 25 %
- 中華（ラーメン、焼きそばほか） 11 %
- 菓子（まんじゅう、ケーキほか） 34 %

ご当地グルメにしたい物

熊谷の特産・小麦を使って

ご応募ありがとうだにゃ♪
また夏に思い出・エピソードを募集したいんだにゃ☆彡





- H P 44 %
- Facebook 12 %
- Twitter 7 %
- 広報誌 21 %
- メール配信 16 %

市の情報を得る媒体